

野村ブラックロック循環経済関連株投信

Aコース／Bコース

愛称：ザ・サーキュラー

運用報告書(全体版)

第7期（決算日2024年2月6日）

作成対象期間（2023年8月8日～2024年2月6日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2020年8月24日から2030年8月6日までです。	
運用方針	外国投資法人であるブラックロック・グローバル・ファンズ・サーキュラー・エコノミー・ファンドークラス 12ヘッジ（円建て）／クラス 12（円建て）の外国投資証券および円建ての国内籍の投資信託である野村マネー マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。各証券への投資比率は、通常の状況においては、ブラックロック・グローバル・ファンズ・サーキュラー・エコノミー・ファンドークラス 12ヘッジ（円建て）／クラス 12（円建て）の外国投資証券への投資を中心としますが、各証券への投資比率には特に制限は設けず、各証券の収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。	
	投資する外国投資法人において、米ドル売り円買いの為替取引を行なうことを基本とします。	投資する外国投資法人において、対円での為替ヘッジを目的とした為替取引を行いません。
主な投資対象	野村ブラックロック循環経済関連株投信 Aコース／Bコース	ブラックロック・グローバル・ファンズ・サーキュラー・エコノミー・ファンドークラス 12ヘッジ（円建て）／クラス 12（円建て）の外国投資証券および野村マネー マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	ブラックロック・グローバル・ファンズ・サーキュラー・エコノミー・ファンドークラス 12ヘッジ（円建て）／クラス 12（円建て）	新興国を含む世界各国の金融商品取引所に上場している企業の株式を主要投資対象とします。
	野村マネー マザーファンド	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村ブラックロック循環経済関連株投信 Aコース／Bコース	株式への直接投資は行いません。外貨建資産への直接投資は行いません。
	野村マネー マザーファンド	株式への投資は行いません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。	

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104
〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		債組入比率	債券先物比率	投資信託証券組入比率	純資産額
		税金 分配	み 騰 落 率				
	円	円	%	%	%	%	百万円
3期(2022年2月7日)	11,851	10	△11.3	0.0	—	98.8	67,792
4期(2022年8月8日)	10,014	0	△15.5	0.0	—	98.9	53,502
5期(2023年2月6日)	10,285	0	2.7	0.0	—	98.9	49,073
6期(2023年8月7日)	10,102	0	△1.8	0.0	—	98.9	39,425
7期(2024年2月6日)	10,115	0	0.1	0.0	—	98.7	29,044

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	標準価額		債組入比率	債券先物比率	投資信託証券組入比率
		騰落率	騰落率			
(期首)	円	%	%	%	%	%
2023年8月7日	10,102	—	0.0	—	98.9	98.9
8月末	10,008	△0.9	0.0	—	98.9	98.9
9月末	9,229	△8.6	0.0	—	99.2	99.2
10月末	8,831	△12.6	0.0	—	98.9	98.9
11月末	9,744	△3.5	0.0	—	99.3	99.3
12月末	10,316	2.1	0.0	—	99.6	99.6
2024年1月末	10,283	1.8	0.0	—	98.6	98.6
(期末)						
2024年2月6日	10,115	0.1	0.0	—	98.7	98.7

*騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Bコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落率		債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率	純資産総額
		税金	み				
	円	分	金	%	%	%	百万円
3期(2022年2月7日)	12,957		10	△6.7	0.0	98.7	97,767
4期(2022年8月8日)	12,879		10	△0.5	0.0	98.6	89,094
5期(2023年2月6日)	13,176		10	2.4	0.0	98.8	79,966
6期(2023年8月7日)	14,420		10	9.5	0.0	99.0	71,706
7期(2024年2月6日)	15,596		10	8.2	0.0	98.6	60,558

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率	純資産総額
		騰落	率				
	円		%	%	%	%	百万円
(期首) 2023年8月7日	14,420		—	0.0	—	99.0	
8月末	14,720		2.1	0.0	—	98.9	
9月末	13,995		△2.9	0.0	—	98.9	
10月末	13,446		△6.8	0.0	—	99.2	
11月末	14,729		2.1	0.0	—	98.8	
12月末	14,994		4.0	0.0	—	99.2	
2024年1月末	15,724		9.0	0.0	—	98.5	
(期末) 2024年2月6日	15,606		8.2	0.0	—	98.6	

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

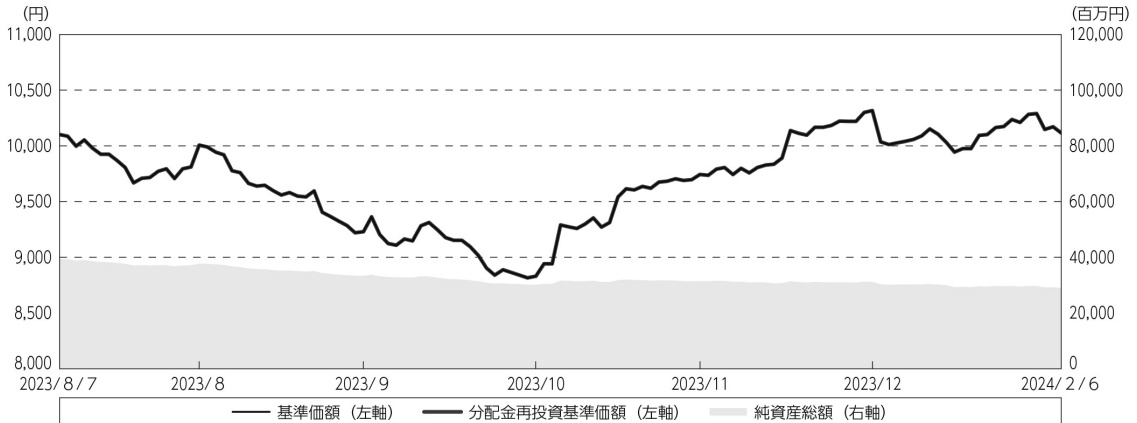
*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Aコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：10,102円

期末：10,115円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：0.1%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成年首（2023年8月7日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の10,102円から期末には10,115円となりました。

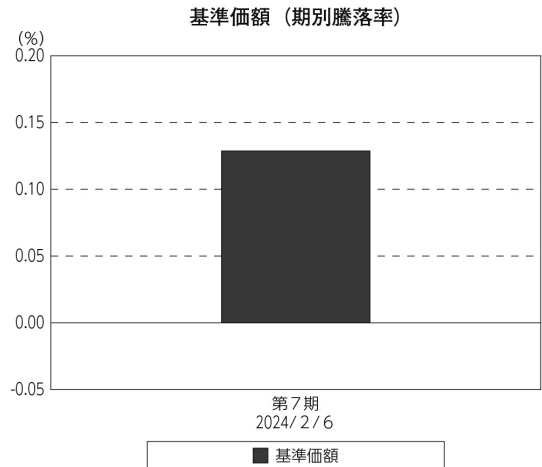
- ・実質的に投資している世界株式からのキャピタルゲイン（またはロス）（価格変動損益）
- ・実質的に投資している世界株式からのインカムゲイン（利子収入）
- ・円／米ドル為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）またはプレミアム（金利差相当分の収益）
- ・米ドル／投資先通貨の為替変動

<Aコース>

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

○分配金

基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項目	第7期
	2023年8月8日～ 2024年2月6日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,015

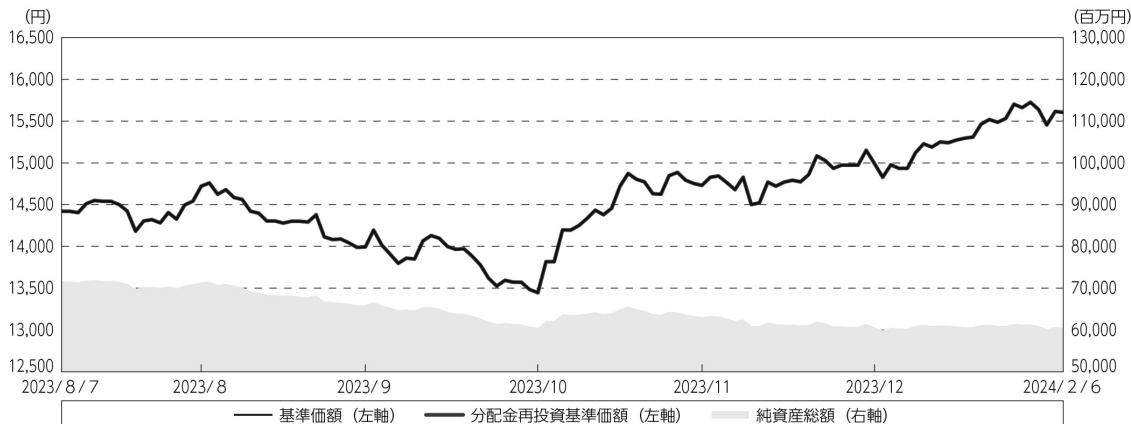
(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：14,420円

期末：15,596円（既払分配金（税込み）：10円）

騰落率： 8.2%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成年首（2023年8月7日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の14,420円から期末には15,596円となりました。

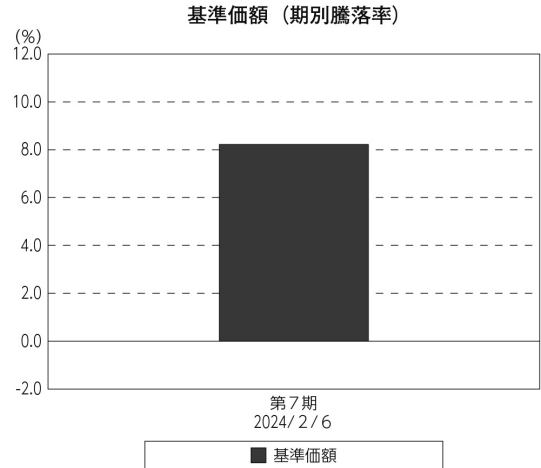
- ・ 実質的に投資している世界株式からのキャピタルゲイン（またはロス）（価格変動損益）
- ・ 実質的に投資している世界株式からのインカムゲイン（利子収入）
- ・ 円／投資先通貨の為替変動

<Bコース>

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

○分配金

収益分配については、分配原資の範囲内で、基準価額水準等を勘案して、1万口当たり10円といたしました。

なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第7期
	2023年8月8日～ 2024年2月6日
当期分配金	10
(対基準価額比率)	0.064%
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,595

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Aコース/Bコース>

○投資環境

世界株式市場は各国の金融政策などに左右されましたが、当期間では値上がりとなりました。

○当ファンドのポートフォリオ

[野村ブラックロック循環経済関連株投信 Aコース]

[ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンドークラス I2ヘッジ(円建て)] 受益証券および [野村マネー マザーファンド] 受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする [ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンドークラス I2ヘッジ(円建て)] 受益証券への投資比率は、概ね高位を維持しました。

[ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンドークラス I2ヘッジ(円建て)]

ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンドを通じて新興国を含む世界の株式を主要投資対象とし、サーキュラーエコノミー（循環経済）の恩恵を受ける、またはサーキュラーエコノミーの発展に貢献すると考えられる株式に投資を行ないました。

※サーキュラーエコノミーのコンセプトは、廃棄物の最少化およびリサイクルや再利用を活性化させるために製品やシステムの再設計を促進すること、とされています。

組入外貨建資産については、原則として純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行ないました。

<Aコース/Bコース>

[野村ブラックロック循環経済関連株投信 Bコース]

〔ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンドークラス I2(円建て)〕 受益証券および〔野村マネー マザーファンド〕 受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする〔ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンドークラス I2(円建て)〕 受益証券への投資比率は、概ね高位を維持しました。

[ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンドークラス I2(円建て)]

ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンドを通じて新興国を含む世界の株式を主要投資対象とし、サーキュラーエコノミー（循環経済）の恩恵を受ける、またはサーキュラーエコノミーの発展に貢献すると考えられる株式に投資を行ないました。

※サーキュラーエコノミーのコンセプトは、廃棄物の最少化およびリサイクルや再利用を活性化させるために製品やシステムの再設計を促進すること、とされています。

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないませんでした。

[野村マネー マザーファンド]

残存1年以内の公社債等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図りました。

<Aコース/Bコース>

◎今後の運用方針

[野村ブラックロック循環経済関連株投信 Aコース]

〔ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンドークラス I2ヘッジ(円建て)〕 受益証券および〔野村マネー マザーファンド〕 受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする〔ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンドークラス I2ヘッジ(円建て)〕 受益証券への投資比率を高位で維持することを目指します。

[ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンドークラス I2ヘッジ(円建て)]

新興国を含む世界の株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行ないます。ファンドでは、サーキュラーエコノミーの恩恵を受ける、またはサーキュラーエコノミーの発展に貢献すると考えられる株式に投資を行ないます。

組入外貨建資産については、原則として純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行なうことを基本とします。

[野村ブラックロック循環経済関連株投信 Bコース]

〔ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンドークラス I2(円建て)〕 受益証券および〔野村マネー マザーファンド〕 受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする〔ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンドークラス I2(円建て)〕 受益証券への投資比率を高位で維持することを目指します。

[ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンドークラス I2(円建て)]

新興国を含む世界の株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行ないます。ファンドでは、サーキュラーエコノミーの恩恵を受ける、またはサーキュラーエコノミーの発展に貢献すると考えられる株式に投資を行ないます。

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。

[野村マネー マザーファンド]

残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図って運用いたします。

日本銀行によるマイナス金利政策のもと、主要な投資対象となる公社債の利回りや余資運用の際のコール・ローンの金利もマイナスとなる中、マイナス利回りの資産への投資等を通じて、基準価額が下落することが想定されますのでご注意ください。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

<Aコース/Bコース>

◎（ご参考）投資対象とする外国投資法人について

○運用プロセス図

当ファンドが投資対象とする外国投資法人は下記のプロセスに基づいて運用されています。

■ 外国投資法人におけるポートフォリオ構築プロセス ■

1.投資ユニバース：

世界各国のサーキュラーエコノミーに関連する企業を投資対象とします。

サーキュラーエコノミーに関連する企業の選別にあたっては、
外部の団体との専属契約に基づき同団体のデータベースを活用します。

**2.投資対象企業の決定：**

個別銘柄ごとに綿密にテーマ性、ファンダメンタルズ分析、ESGに関する項目を含むリスク分析を行ない、投資対象企業を決定します。

独自の資産運用リスク・マネジメント・システムを用いて、気候変動や労使関係、コーポレートガバナンスなどのESGに関する項目を含めたリスク管理を行ない、投資対象企業を決定します。

**3.ポートフォリオの構築：**

リスク特性・銘柄分散等を加味し、リターンを最大化を目標に確信度の高い企業に投資します。

(出所) ブラックロックの情報提供などを基に野村アセットマネジメント作成

※上記ポートフォリオの構築プロセスは、今後変更となる場合があります。

<Aコース/Bコース>

○主要組入銘柄の解説とESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

組み入れ銘柄の紹介・解説になります。

☆リパブリック・サービシズ（米国）

①事業内容

リパブリック・サービシズ（Republic Services, Inc.）は一般廃棄物処理会社です。米国で無害固形廃棄物の収集、処理サービスなどを手掛けています。商工業顧客や地方自治体、一般世帯向けに収集サービスを提供しており、移送施設、埋立地、回収施設も運営しています。

②ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

各国でサーキュラーエコノミーの実現に向けた動きが加速していますが、依然として大量の廃棄物がリサイクルされずに処分されています。この問題を解決するため、同社は他社との合併事業として、埋立地の廃棄物を回収し再生可能な天然ガスに変換する計画を発表しました。実現すれば、環境負荷低減や気候変動対策に加えて、埋立地におけるメタンガスの排出、水源の流出などの公共問題の解決も期待されます。

☆マイクロソフト（米国）

①事業内容

マイクロソフト（Microsoft Corporation）はソフトウェア会社です。アプリケーション、追加クラウド・ストレージ、高度セキュリティソリューションを提供しています。

②ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

リモート環境の普及や、データ分析の需要増大からサーバーのクラウド化が急速に進んでいることに伴い、データセンター内で排出する二酸化炭素量が、クラウドコンピューティング企業の課題となっています。同社は2030年までに二酸化炭素排出量を実質マイナスにする「カーボン・ネガティブ」を目指しており、データセンターで使用する電力を再生可能エネルギーで賄うなどの取り組みを積極的に進めています。

☆ロレアル（フランス）

①事業内容

ロレアル（L'Oréal）は化粧品メーカーです。マスカラ、リップグロス、ファンデーション、アイシャドウ、化粧下地、マニキュア、口紅、フェイスパウダー、チーク、コンシーラーなどを主な製品として扱っています。

②ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

2025年までに再生可能エネルギーの活用を100%とし、カーボンニュートラルの達成を目指すことを発表しています。加えて、2030年までに製品パッケージに使用されるプラスチックを100%再生可能なものに切り替えることを目標に掲げました。同社はサステナビリティ（持続可能性）、サーキュラーエコノミーへの取り組みが先行しており、昨今の消費者の需要の変化に適応している企業として、今後も一層の成長が期待できます。

<Aコース/Bコース>

○投資対象とする外国投資法人におけるサステナブル投資

①SDGs（持続可能な開発目標）スコア

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。

投資対象とする外国投資法人は、投資を通じてSDGsへの貢献を促進しており、2023年9月末時点におけるアライメント状況は下記のとおりです。

【外国投資法人におけるSDGsのアライメント状況】

項目	アライメント状況
6. 安全な水とトイレを世界中に	8%
7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに	5%
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	17%
11. 住み続けられるまちづくりを	11%
12. つくる責任 つかう責任	54%
15. 陸の豊かさも守ろう	2%

（ポートフォリオにおいて、各SDGsの項目に貢献していると考えられる銘柄の組み入れ比率をアライメントとして記載しています）
 （出所）BlackRock Circular Economy Fund Progress report November 2023

②サステナビリティ指標に関するデータ（2023年12月末時点）

外国投資法人は、サーキュラーエコノミー（循環経済）の恩恵を受ける、またはサーキュラーエコノミーの発展に貢献すると考えられる株式に純資産総額の80%以上投資することを目標として運用されていますが、同銘柄への純資産総額における投資比率は97.01%でした。

（出所）ブラックロック

○スチュワードシップ活動

ブラックロック・インベストメント・マネジメント（UK）リミテッドは、議決権行使やエンゲージメント（対話）を通じて、投資先企業の持続可能な成長を促します。

ブラックロック・インベストメント・マネジメント（UK）リミテッドのスチュワードシップ活動の詳細は、以下のサイト（「野村アセットマネジメントの主なESGファンド」）内、「外部委託ファンドのスチュワードシップ方針/スチュワードシップ活動」にある「野村ブラックロック循環経済関連株投信」の「スチュワードシップの活動はこちら」より、ブラックロック・ジャパン株式会社のサイトにアクセスいただくと、ご覧いただけます。

<https://www.nomura-am.co.jp/special/esg/strategy/esglineup.html#esglineup4>

<Aコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年 8 月 8 日～2024年 2 月 6 日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 54	% 0.550	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(13)	(0.138)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(37)	(0.385)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(3)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	54	0.552	
期中の平均基準価額は、9,735円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

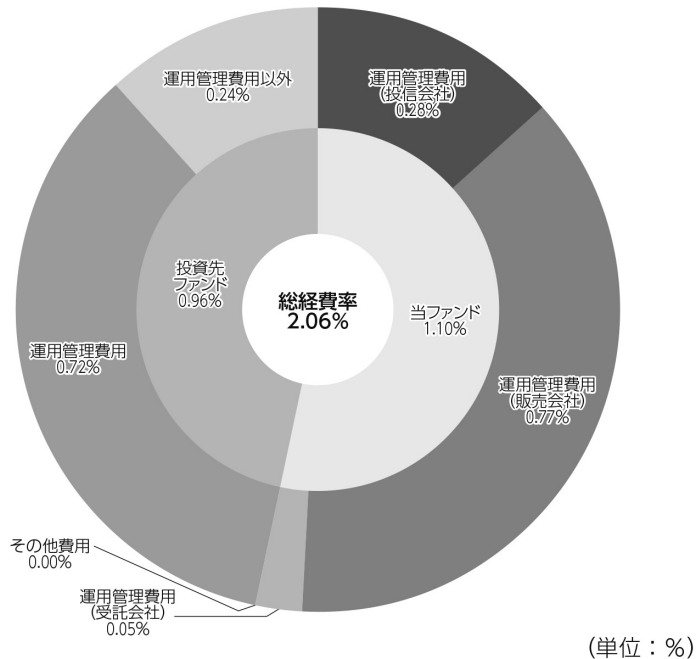
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Aコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.06%です。



総経費率 (①+②+③)	2.06
①当ファンドの費用の比率	1.10
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.72
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.24

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 当ファンドの費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 投資先ファンドの費用は、投資先ファンドの開示基準に基づき算出したものです。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券等（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドのその他費用には、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの純資産総額等によっては、投資先ファンドの運用管理費用以外の比率が高まる場合があります。

(注) 投資先ファンドの費用は、交付運用報告書作成時点において、委託会社が知りうる情報をもとに作成しています。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Aコース>

○売買及び取引の状況

(2023年8月8日～2024年2月6日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ブラックロック・グローバル・ファンズ-サーキュラー・エコノミー・ファンドークラス I2ヘッジ (円建て)	口	千円	口	千円
		—	—	8,353,072	10,090,500

*金額は受け渡し代金。

*金額の単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年8月8日～2024年2月6日)

利害関係人との取引状況

<野村ブラックロック循環経済関連株投信 Aコース>

該当事項はございません。

<野村マネー マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
		百万円	%		百万円	%
公社債	百万円 1,212	百万円 27	% 2.2	百万円 —	百万円 —	% —

平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

<Aコース>

○組入資産の明細

(2024年2月6日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・ エコノミー・ファンドークラス I2ヘッジ (円建て)	30,990,683	22,637,611	28,659,216	98.7
合 計	30,990,683	22,637,611	28,659,216	98.7

*比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村マネー マザーファンド	千口 98	千口 98	千円 99

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年2月6日現在)

項 目	当 期 末	比 率
	評 価 額	
投資信託受益証券	千円 28,659,216	% 97.4
野村マネー マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	753,427	2.6
投資信託財産総額	29,412,742	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

<Aコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年2月6日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	29,412,742,123
コール・ローン等	601,226,192
投資信託受益証券(評価額)	28,659,216,019
野村マネー マザーファンド(評価額)	99,912
未収入金	152,200,000
(B) 負債	367,776,282
未払解約金	186,780,075
未払信託報酬	180,454,791
未払利息	116
その他未払費用	541,300
(C) 純資産総額(A-B)	29,044,965,841
元本	28,714,293,189
次期繰越損益金	330,672,652
(D) 受益権総口数	28,714,293,189口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,115円

(注) 期首元本額は39,027,435,596円、期中追加設定元本額は307,895,172円、期中一部解約元本額は10,621,037,579円、1口当たり純資産額は1,0115円です。

○損益の状況 (2023年8月8日～2024年2月6日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 79,435
支払利息	△ 79,435
(B) 有価証券売買損益	229,103,576
売買益	581,819,423
売買損	△ 352,715,847
(C) 信託報酬等	△ 180,996,091
(D) 当期損益金(A+B+C)	48,028,050
(E) 前期繰越損益金	△1,457,227,777
(F) 追加信託差損益金	1,739,872,379
(配当等相当額)	(1,427,378,283)
(売買損益相当額)	(312,494,096)
(G) 計(D+E+F)	330,672,652
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	330,672,652
追加信託差損益金	1,739,872,379
(配当等相当額)	(1,427,378,283)
(売買損益相当額)	(312,494,096)
分配準備積立金	7,231,781,807
繰越損益金	△8,640,981,534

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2023年8月8日～2024年2月6日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2023年8月8日～ 2024年2月6日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	1,427,378,283円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	7,231,781,807円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	8,659,160,090円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	3,015円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円

<Aコース>

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

<Bコース>

○1万口当たりの費用明細

(2023年8月8日～2024年2月6日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	80	0.550	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(20)	(0.138)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(56)	(0.385)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(4)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	80	0.552	
期中の平均基準価額は、14,601円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

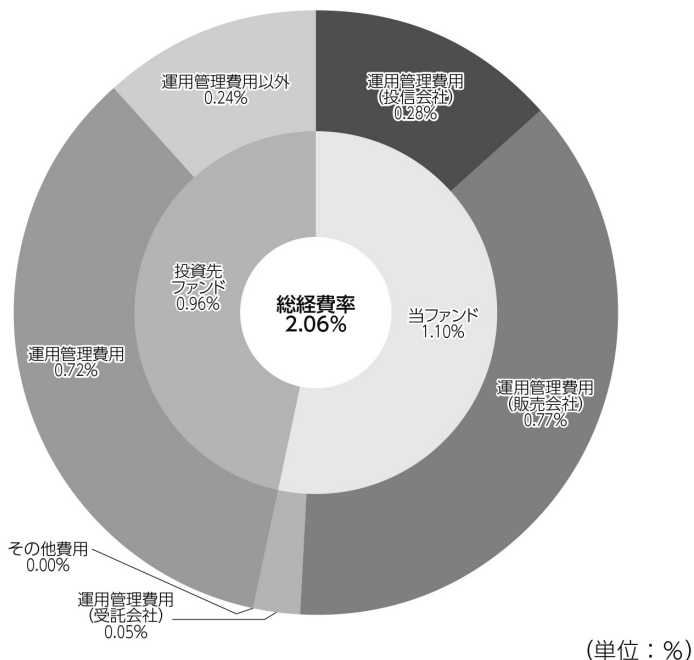
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.06%です。



総経費率 (①+②+③)	2.06
①当ファンドの費用の比率	1.10
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.72
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.24

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 当ファンドの費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 投資先ファンドの費用は、投資先ファンドの開示基準に基づき算出したものです。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券等（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドのその他費用には、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの純資産総額等によっては、投資先ファンドの運用管理費用以外の比率が高まる場合があります。

(注) 投資先ファンドの費用は、交付運用報告書作成時点において、委託会社が知りうる情報をもとに作成しています。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況

(2023年8月8日～2024年2月6日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ブラックロック・グローバル・ファンズ-サーキュラー・エコノミー・ファンドークラス I2 (円建て)	口	千円	口	千円
		—	—	8,777,429	16,416,900

*金額は受け渡し代金。

*金額の単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年8月8日～2024年2月6日)

利害関係人との取引状況

<野村ブラックロック循環経済関連株投信 Bコース>

該当事項はございません。

<野村マネー マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
		百万円	%		百万円	%
公社債	百万円 1,212	百万円 27	% 2.2	百万円 —	百万円 —	% —

平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

<Bコース>

○組入資産の明細

(2024年2月6日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンドークラス I2 (円建て)	38,578,203	29,800,773	59,690,950	98.6
合 計	38,578,203	29,800,773	59,690,950	98.6

*比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村マネー マザーファンド	千口 98	千口 98	千円 99

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年2月6日現在)

項 目	当 期 末	比 率
	評 価 額	
投資信託受益証券	千円 59,690,950	% 97.3
野村マネー マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	1,683,738	2.7
投資信託財産総額	61,374,787	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

<Bコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年2月6日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	61,374,787,032
コール・ローン等	1,350,236,979
投資信託受益証券(評価額)	59,690,950,141
野村マネー マザーファンド(評価額)	99,912
未収入金	333,500,000
(B) 負債	816,257,642
未払収益分配金	38,830,011
未払解約金	420,256,895
未払信託報酬	356,102,230
未払利息	261
その他未払費用	1,068,245
(C) 純資産総額(A-B)	60,558,529,390
元本	38,830,011,726
次期繰越損益金	21,728,517,664
(D) 受益権総口数	38,830,011,726口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,596円

(注) 期首元本額は49,726,485,574円、期中追加設定元本額は1,029,336,350円、期中一部解約元本額は11,925,810,198円、1口当たり純資産額は1.5596円です。

○損益の状況 (2023年8月8日～2024年2月6日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 147,775
支払利息	△ 147,775
(B) 有価証券売買損益	4,949,154,286
売買益	5,395,778,085
売買損	△ 446,623,799
(C) 信託報酬等	△ 357,170,475
(D) 当期損益金(A+B+C)	4,591,836,036
(E) 前期繰越損益金	12,994,215,767
(F) 追加信託差損益金	4,181,295,872
(配当等相当額)	(3,080,422,067)
(売買損益相当額)	(1,100,873,805)
(G) 計(D+E+F)	21,767,347,675
(H) 収益分配金	△ 38,830,011
次期繰越損益金(G+H)	21,728,517,664
追加信託差損益金	4,181,295,872
(配当等相当額)	(3,080,422,067)
(売買損益相当額)	(1,100,873,805)
分配準備積立金	17,547,369,559
繰越損益金	△ 147,767

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2023年8月8日～2024年2月6日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2023年8月8日～ 2024年2月6日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	4,591,811,501円
c. 信託約款に定める収益調整金	4,181,295,872円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	12,994,388,069円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	21,767,495,442円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	5,605円
g. 分配金	38,830,011円
h. 分配金(1万口当たり)	10円

<Bコース>

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	10円
----------------	-----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

ブラックロック・グローバル・ファンズ サーキュラー・エコノミー・ファンド クラス I2ヘッジ(円建て)／I2(円建て)

2023年8月31日決算

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

形 態	ルクセンブルグ籍外国投資法人
運 用 方 針	<ul style="list-style-type: none">・新興国を含む世界各国の金融商品取引所に上場している企業の株式を主要投資対象とし、トータル・リターンを最大化を目指して運用を行なうことを基本とします。・ファンドは、サーキュラーエコノミー(循環経済)の恩恵を受ける、またはサーキュラーエコノミーの発展に貢献すると考えられる株式に投資を行ないます。 ※サーキュラーエコノミー(循環経済)のコンセプトは、廃棄物の最少化およびリサイクルや再利用を活性化させるために製品やシステムの再設計を促進すること、とされています。
投 資 対 象	新興国を含む世界各国の金融商品取引所に上場している企業の株式
運 用 会 社	ブラックロック・インベストメント・マネジメント(UK)リミテッド
保 管 会 社	ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロンSA/NV、ルクセンブルグ支店
管 理 会 社	ブラックロック(ルクセンブルグ)S. A.

*作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成いたしております。

運用計算書および純資産変動計算書
2022年9月1日から2023年8月31日までの計測期間
(米ドル)

期首純資産総額	1,796,330,423
収益	
現金および現金同等物に係る利息	3,446,089
配当金(源泉徴収税控除後)	26,164,126
証券貸付収益	202,849
その他の払戻金	12,580
収益合計	29,825,644
費用	
年間サービス料	1,784,855
ローン・コミットメント・フィー	5,243
保管機関および預託機関報酬	218,960
販売報酬	1,772,713
税金	418,340
運用報酬	16,040,981
費用合計	20,241,092
純収益／(損失)	9,584,552
実現純評価(損)益：	
投資	(27,925,269)
外国為替先渡し契約	(38,886,471)
その他の取引に係る外国通貨	(580,269)
当期実現純評価(損)益	(67,392,009)
未実現評価(損)益の純変動額：	
投資	209,334,555
外国為替先渡し契約	6,418,557
その他の取引に係る外国通貨	124,274
当期末実現評価(損)益の純変動額	215,877,386
運用による純資産の増加(減少)額	158,069,929
受益者に帰属する資本の変動	
受益証券発行による純受取額	224,372,432
受益証券買戻しによる純支払額	(515,450,297)
受益者に帰属する資本の変動による純資産の増加(減少)額	(291,077,865)
配当宣言額	(80,795)
期末純資産総額	1,663,241,692

	1口当たり	発行済
	純資産価格	受益証券数
I Class non-distributing share (USD)	12.89	59,191,825
I Class non-distributing share JPY hedged (JPY)	1,245	29,962,319

投資ポートフォリオ
2023年8月31日現在

保有数	銘柄名	評価金額(米ドル)	純資産比率(%)
公式証券市場に上場されているまたはその他の規制市場で取引されている譲渡可能証券および短期金融市場商品			
普通株式			
オーストラリア			
5,538,693	Brambles	53,707,833	3.23
14,131,398	Cleanaway Waste Management	23,982,528	1.44
1,475,137	Sims	14,657,714	0.88
		92,348,075	5.55
フィンランド			
1,339,042	UPM-Kymmene	46,169,578	2.78
フランス			
1,438,273	Bureau Veritas	38,870,745	2.34
234,120	Carbios SACA	6,375,585	0.38
1,161,149	Dassault Systemes	46,234,038	2.78
103,799	L'Oreal	46,217,701	2.78
219,578	Schneider Electric*	37,992,937	2.28
1,909,449	Veolia Environnement	59,684,167	3.59
		235,375,173	14.15
ドイツ			
340,127	Aurubis*	28,200,444	1.70
476,955	Siemens Healthineers*	24,124,454	1.45
		52,324,898	3.15
アイルランド			
859,619	CRH	49,653,728	2.99
614,135	Smurfit Kappa	26,005,800	1.56
		75,659,528	4.55
日本			
92,100	Keyence*	38,136,862	2.29
399,400	Kurita Water Industries*	15,530,024	0.94
1,036,700	Unicharm	41,225,422	2.48
		94,892,308	5.71
オランダ			
72,916	ASML	48,565,547	2.92
ノルウェー			
4,005,890	Norsk Hydro	22,352,588	1.34
スウェーデン			
1,342,528	Epiroc*	25,917,145	1.56
188,762	Re:NewCell*	1,600,523	0.09
		27,517,668	1.65

保有数	銘柄名	評価金額(米ドル)	純資産比率(%)
スイス			
292,628	Nestle	35,365,479	2.12
1,882,219	SIG*	50,251,661	3.02
129,771	Sika*	36,879,740	2.22
		122,496,880	7.36
英国			
952,641	Coca-Cola Europacific Partners	61,835,927	3.72
アメリカ			
376,749	AECOM*	33,300,844	2.00
212,174	Agilent Technologies*	26,080,428	1.57
260,949	Avery Dennison	49,319,361	2.97
103,752	Badger Meter	17,326,584	1.04
722,988	Copart	32,628,448	1.96
487,406	Crown*	45,299,514	2.73
277,845	Ecolab	51,379,097	3.09
1,848,087	Graphic Packaging*	41,397,149	2.49
863,864	LKQ	46,354,942	2.79
219,162	Microsoft	72,117,448	4.33
130,235	Nucor	22,328,791	1.34
454,256	Republic Services	66,212,355	3.98
66,940	Thermo Fisher Scientific	37,616,933	2.26
419,312	TJX	38,836,678	2.33
631,406	Trex*	44,962,421	2.70
259,872	Waste Management	41,111,750	2.47
489,712	Xylem	50,969,225	3.07
112,627	Zebra Technologies*	31,389,145	1.89
		748,631,113	45.01
普通株式合計		1,628,169,283	97.89
公式証券市場に上場されているまたはその他の規制市場で取引されている 譲渡可能証券および短期金融市場商品合計		1,628,169,283	97.89
ポートフォリオ合計		1,628,169,283	97.89
その他純資産		35,072,409	2.11
純資産総額(米ドル)		1,663,241,692	100.00

*この証券のすべてまたは一部は貸付証券である。

外国為替先渡し契約

2023年8月31日現在

通貨	買い	通貨	売り	取引相手	満期日	未実現評価益/(損) (米ドル)
AUD Hedged Share Class						
AUD	730,684	USD	475,797	BNY Mellon	2023年9月15日	(2,301)
USD	27,411	AUD	42,425	BNY Mellon	2023年9月15日	(81)
未実現純評価損						(2,382)
CAD Hedged Share Class						
CAD	1,086,692	USD	807,936	BNY Mellon	2023年9月15日	(4,543)
USD	104,078	CAD	140,776	BNY Mellon	2023年9月15日	2
未実現純評価損						(4,541)
CNH Hedged Share Class						
CNY	1,579,045	USD	218,710	BNY Mellon	2023年9月15日	(1,545)
USD	12,389	CNY	90,015	BNY Mellon	2023年9月15日	9
未実現純評価損						(1,536)
EUR Hedged Share Class						
EUR	2,750,760	USD	3,017,171	BNY Mellon	2023年9月15日	(31,140)
USD	174,668	EUR	160,089	BNY Mellon	2023年9月15日	887
未実現純評価損						(30,253)
GBP Hedged Share Class						
GBP	7,690,210	USD	9,784,061	BNY Mellon	2023年9月15日	(35,078)
USD	715,774	GBP	563,273	BNY Mellon	2023年9月15日	1,707
未実現純評価損						(33,371)
HKD Hedged Share Class						
HKD	23,247,018	USD	2,978,261	BNY Mellon	2023年9月15日	(12,607)
USD	323,039	HKD	2,528,387	BNY Mellon	2023年9月15日	489
未実現純評価損						(12,118)
JPY Hedged Share Class						
JPY	40,689,975,011	USD	285,430,956	BNY Mellon	2023年9月15日	(6,525,600)
USD	23,364,222	JPY	3,381,026,051	BNY Mellon	2023年9月15日	189,939
未実現純評価損						(6,335,661)
NZD Hedged Share Class						
NZD	124,449	USD	75,153	BNY Mellon	2023年9月15日	(1,136)
USD	4,325	NZD	7,251	BNY Mellon	2023年9月15日	13
未実現純評価損						(1,123)
SGD Hedged Share Class						
SGD	839,156	USD	623,345	BNY Mellon	2023年9月15日	(2,224)
USD	43,904	SGD	59,365	BNY Mellon	2023年9月15日	(38)
未実現純評価損						(2,262)
未実現純評価損合計(米ドル原エクスポージャー - 320,822,690米ドル)						(6,423,247)

野村マネー マザーファンド

運用報告書

第21期（決算日2023年8月21日）

作成対象期間（2022年8月20日～2023年8月21日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	本邦通貨表示の公社債等に投資を行ない、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行ないます。
主な投資対象	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は行ないません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		期騰	落中率			
17期(2019年8月19日)	円 10,205		% △0.0	% 59.3	% —	百万円 8,458
18期(2020年8月19日)	10,203		△0.0	68.2	—	3,175
19期(2021年8月19日)	10,200		△0.0	60.1	—	9,159
20期(2022年8月19日)	10,199		△0.0	57.5	—	7,850
21期(2023年8月21日)	10,196		△0.0	5.7	—	6,733

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

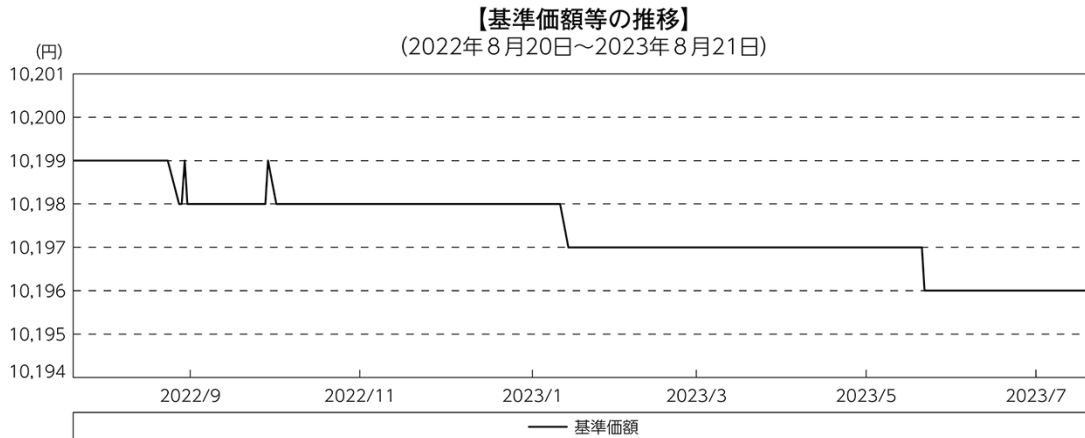
年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率
		騰	落率		
(期首) 2022年8月19日	円 10,199		% —	% 57.5	% —
8月末	10,199		0.0	58.4	—
9月末	10,198		△0.0	48.5	—
10月末	10,198		△0.0	44.4	—
11月末	10,198		△0.0	34.4	—
12月末	10,198		△0.0	20.7	—
2023年1月末	10,198		△0.0	16.4	—
2月末	10,197		△0.0	25.4	—
3月末	10,197		△0.0	22.8	—
4月末	10,197		△0.0	26.2	—
5月末	10,197		△0.0	14.3	—
6月末	10,196		△0.0	9.1	—
7月末	10,196		△0.0	4.3	—
(期末) 2023年8月21日	10,196		△0.0	5.7	—

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

投資している短期有価証券やコール・ローンなどのマイナス金利環境を要因とする支払利息等。

○投資環境

国内経済は、消費や雇用環境など景気全般に持ち直しの動きが見られました。このような中、日銀は2022年12月の金融政策決定会合で、長短金利操作（イールドカーブ・コントロール）の運用を一部見直し、長期金利の許容変動幅を±0.5%と、従来の±0.25%から拡大することを決定しました。また、2023年7月には、イールドカーブ・コントロールの運用を更に柔軟化し、従前の上限であった+0.5%からの上振れを容認し、実質的な長期金利の上限を+1%とすることを決定しました。

TDB（国庫短期証券）3ヵ月物の利回りは、期を通じて-0.10%～-0.30%程度で推移しました。また、無担保コール翌日物金利は-0.01%～-0.08%程度で推移しました。

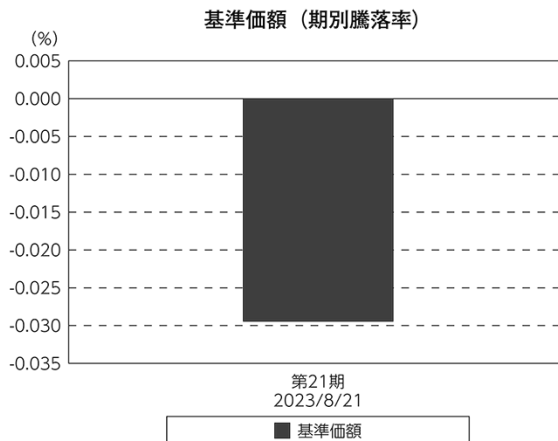
○当ファンドのポートフォリオ

残存1年以内の公社債等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎今後の運用方針

残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図って運用いたします。

日銀によるマイナス金利政策のもと、主要な投資対象となる公社債の利回りや余資運用の際のコール・ローンの金利もマイナスとなる中、マイナス利回りの資産への投資等を通じて、基準価額が下落することが想定されますのでご注意ください。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

(2022年8月20日～2023年8月21日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2022年8月20日～2023年8月21日)

公社債

		買付額	売付額
国内	地方債証券	千円 4,557,523	千円 503,685 (4,569,320)
	特殊債券	2,284,885	— (5,187,000)
	社債券（投資法人債券を含む）	300,407	— (1,000,000)

*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

*単位未満は切り捨て。

*（ ）内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

*社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2022年8月20日～2023年8月21日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年8月21日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
地方債証券	230,000 (230,000)	230,079 (230,079)	3.4 (3.4)	— (—)	— (—)	— (—)	3.4 (3.4)
特殊債券 (除く金融債)	54,000 (54,000)	54,051 (54,051)	0.8 (0.8)	— (—)	— (—)	— (—)	0.8 (0.8)
普通社債券 (含む投資法人債券)	100,000 (100,000)	100,043 (100,043)	1.5 (1.5)	— (—)	— (—)	— (—)	1.5 (1.5)
合 計	384,000 (384,000)	384,175 (384,175)	5.7 (5.7)	— (—)	— (—)	— (—)	5.7 (5.7)

* () 内は非上場債で内書きです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

* 残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	額	償 還 年 月 日
地方債証券	%	千円	千円		
東京都 公募第724回	0.7	10,000	10,005		2023/9/20
大阪府 公募(5年)第155回	0.001	100,000	100,000		2023/10/30
京都府 公募平成25年度第7回	0.8	90,000	90,058		2023/9/19
愛知県 公募平成25年度第15回	0.699	10,000	10,012		2023/10/25
福岡県 公募平成25年度第4回	0.816	20,000	20,003		2023/8/25
小 計		230,000	230,079		
特殊債券(除く金融債)					
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第200回	0.801	34,000	34,030		2023/9/29
地方公共団体金融機構債券 第54回	0.73	10,000	10,019		2023/11/28
西日本高速道路 第47回	0.07	10,000	10,002		2023/12/20
小 計		54,000	54,051		
普通社債券(含む投資法人債券)					
三井住友ファイナンス&リース 第21回社債間限定同順位特約付	0.18	100,000	100,043		2023/11/27
小 計		100,000	100,043		
合 計		384,000	384,175		

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

